

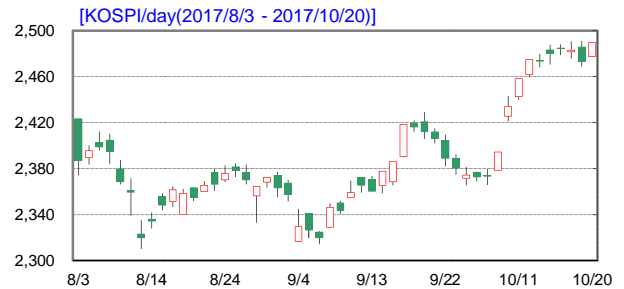


【韓国】 総合指数は週間で0.6%高と5週続伸、今週は経済指標発表に注目

先週の動き／今週の展望

総合指数は週間で0.6%高と5週続伸。指数が過去最高値圏で推移する中、週を通じて一進一退の値動きが続いた。週前半の16-17日は米株高を手掛かりに連日で最高値を更新したが、18-19日は高値警戒感から利益確定の売りに押される展開。ただ、根強い企業業績の改善期待に加え、韓国銀行（中央銀行）が政策金利の据え置きを決めたことなどが投資家心理の支えとなり、下げ幅は限られた。20日は米株の連日の最高値更新を受け、ハイテク株や金融株に業績期待の買いが入り、3日ぶりに過去最高値を更新して週の取引を終えた。今週は経済指標発表に注目。23日に生産者物価指数（PPI）、26日に四半期GDPが発表される。指数が過去最高値圏にある中、結果次第では相場のボラティリティが高まる可能性がある。

▼指数チャート



【ロシア】 RTS 指数は週間で1.9%高と反落、今週は引き続き弱含みの展開か

先週の動き／今週の展望

RTS 指数は週間で1.9%安と反落。市場予想を下回った経済指標や不安定な原油相場を背景に利益確定売りに押された。プーチン大統領が討論会で、異例の激しい口調で米国の対ロシア政策を批判したことにより米ロ関係悪化に対する懸念も強まった。経済指標では16日に発表された9月鉱工業生産が前年同月比0.9%増（市場予想：1.5%増）と8月の1.5%増から減速。18日に発表された9月の失業率は5.0%（市場予想：4.9%）と8月の4.9%から小幅ながら上昇した。RTS 指数は18日までは前週末終値をやや下回る1150ドル前後を維持していたが、ブレント原油価格が19日に急落すると連れ安し、20日には一時、1131.72ドルまで下落。前週の上昇分をほぼ失い、1134.45ドルで取引を終えた。今週は弱含む展開が続くか。

▼指数チャート



【ベトナム】 VN 指数は週間で0.7%高と3週続伸、今週はもみ合いか

先週の動き／今週の展望

VN 指数は週間で0.7%高と3週続伸。総じて堅調な展開だった。主力銘柄が個別の材料を好感して上値を伸ばし、指数は2008年2月以来の830ポイント台を一時的に回復。中央銀行が早ければ月内にも追加利下げを実施するとの観測が浮上したことも支援材料となった。週明け16日は、前週末まで6営業日続伸の反動もあり、820ポイントを下回った。ただ、その後は前週末比でプラス圏を維持。18日は前日大引け間際の急騰を引き継ぎ、9年8カ月ぶりに830ポイントを超え、その後も高値圏での取引が続いた。指数は20日に833.57ポイントまで上昇し、7週連続で52週高値を更新したが、引けにかけて利益確定売りに押され、前日比0.3%安の826.84ポイントで週の取引を終えた。今週は過熱感もあり、もみ合いか。

▼指数チャート



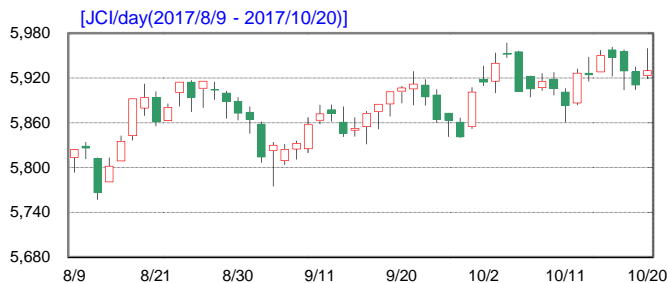


【インドネシア】

【先週の動き／今週の展望】ジャカルタ総合指数は 0.1%高、中銀が GDP 成長率の見通しを上方修正

ジャカルタ総合指数は週間で 0.1%高と 3 週続伸。国内要因が指数を支えた。16 日は 9 月の貿易黒字額が市場予想から上振れしたことが好感されて反発したが、その後は買い材料に乏しく 19 日まで 3 日続落。ただ、20 日は中央銀行が前日に開催した金融政策決定会合後に発表した声明で、今年の GDP 成長率がこれまでの予想レンジだった 5.0-5.4%を上回るとの見方が示されたことを受けて金融株の一角が買われ、反発して引けた。政策金利は 4.25%に据え置かれている。今週は国内の重要イベントが少なく、下落後に落ち着きを取り戻しつつある対ドルのルピア相場や米国の株式動向に左右される展開か。

▼指数チャート

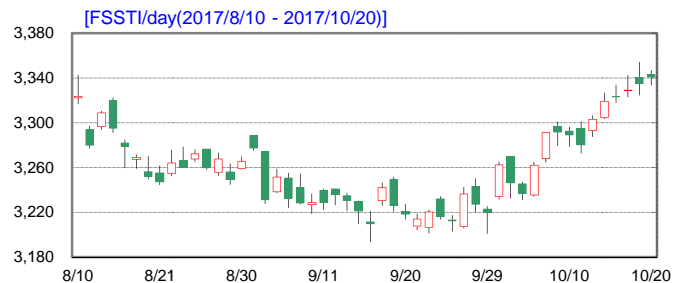


【シンガポール】

【先週の動き／今週の展望】ストレートタイムズ指数は 0.7%高、シンガポール取引所とナスダックが協力合意

ストレートタイムズ指数は 4 日間の取引で 0.7%高と 3 週続伸。じりじりと上値を広げる展開が続いた。17 日は 9 月の非石油地場輸出が電子機器部門の低迷を受けて前年同月比 1.1%減と 5 カ月ぶりに減少に転じたものの影響は少なく、指数は小幅に上昇。ディーパバリの祝日を挟んだ 19 日は、シンガポール取引所 (SGX) と米ナスダックが企業の上場促進に向けた協力で合意したことが好感された。結局、20 日まで 6 営業日続伸して取引を終了している。今週は 23 日に 9 月の CPI 上昇率、26 日に同月の鉱工業生産が発表される予定。外部要因では前週の NY ダウが 5 日連続で過去最高値を更新したことが追い風。

▼指数チャート

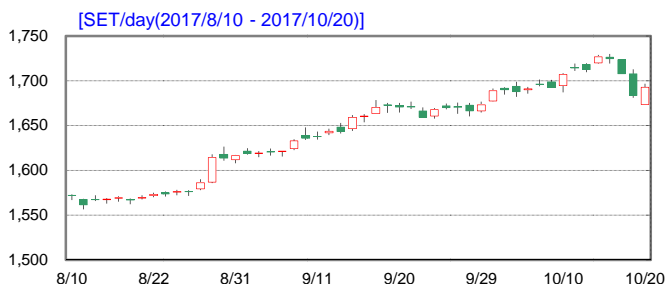


【タイ】

【先週の動き／今週の展望】SET 指数は 1.2%安、今週は 1700 ポイント回復に期待

SET 指数は週間で 1.2%安と 4 週ぶりに反落。週半ばの続落が響いた。週初の 16 日は中国の 9 月の生産者物価指数 (PPI) の上昇率が市場予想から上振れしたことが好感されて指数は終値で 23 年 9 カ月ぶりの高値を更新したが、17 日に反落すると 18 日は前日比 1.0%下落。19 日は 9 月の貿易統計 (通関ベース) で輸出額が前年同月比 12.2%増と 2 桁の伸びを維持したが買い材料にならず、指数は前日比 1.4%安と下値を広げた。20 日は反動で買われて 4 日ぶりに反発して取引を終えた。今週は節目の 1700 ポイントを回復できるかが注目される。23 日はチュラロンコーン大王記念日、26 日は国民の休日のため休場。

▼指数チャート



【マレーシア】

【先週の動き／今週の展望】クアラルンプール総合指数は 0.8%安、今週は 27 日に 18 年度予算案発表

クアラルンプール総合指数は 4 日間の取引で 0.8%安と続落。買い材料に乏しく軟調な値動きが続いた 1 週間だった。週初の 16 日に反落すると、17 日も外国人投資家を中心とする売りで続落。19 日は 9 月の CPI 発表を翌日に控え、市場で物価上昇圧力が高まるとの見方が広がったほか、中国の 7-9 月期の GDP 成長率が前年同期比 6.8%と前期をわずかながら下回ったことが嫌気された。20 日は CPI 上昇率が前年同月比 4.3%と前月の 3.7%を上回り、インフレ懸念が強まった影響で指数は 4 日続落し、6 カ月ぶりの安値を更新した。今週は 27 日に発表される予定の 18 年度政府予算案に対する市場の反応が焦点。

▼指数チャート



本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するにしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があり、また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。